

世界史

〔 I 〕 次の文章を読み、設問 1～11に答えなさい。

(50点)

11～13世紀の西ヨーロッパにおいて、農業技術の発展とそれにとまなう人口増加は、商業の発展と都市の成立を促す契機となった。耕作地を秋耕地・春耕地・休耕地に分けて耕作する（ a ）の普及や水車の活用といった技術革新によって農業生産力が飛躍的に向上した結果、農村人口が増加しただけでなく、余剰生産物と余剰労働力が生まれた。こうして余剰生産物の交換を中心として商業が発達するなかで、交通の要衝や消費地、生産地などを拠点として、都市が成立したのである。

人口増大は、西ヨーロッパの外部への拡大も促した。6世紀に（ b ）がイタリアのモンテ=カッシーノ（モンテ=カシノ）に修道院を創設するなど、ヨーロッパ各地に修道院が建設されていたが、人口増加による土地不足を受けて、こうした修道院の修道士たちが荒地の開墾を行い、大規模な農地開発を促進した。このような12世紀から13世紀にかけて主に修道院が先頭に立って耕地を広げた時代は 時代と呼ばれる。そして、12世紀から14世紀にかけて、ドイツ人たちがエルベ川以東からバルト海沿岸の異教徒地域に進出し、軍事的な拡張とともに、キリスト教化を推進しながら土地を支配していく が行われた。

1095年のクレルモン教会（宗教）会議におけるローマ教皇の呼びかけをきっかけにして始まった（ c ）もこうした外部への拡大の一環であった。これをきっかけにして、西ヨーロッパとアラブ地域を結ぶ交易ルートが確保されたことで、これらの地域に広がる地中海商業圏（交易圏）が形成された。

また、北海・バルト海沿岸地域でも北ヨーロッパ商業圏（北海・バルト海交易圏）が形成された。これら2つの商業圏を結ぶ交易ルート上でも都市が発展することになり、たとえばシャンパーニュ地方は（ d ）で繁栄した。このように、距離の離れた地域間や都市間の 貿易（商業）が活発になった。そして、さまざまな商品が取引されて、産業の発展が見られた。

このようにして成立・成長した都市は、当初こそ領主や司教の保護のもとにあったが、次第にその支配からの解放と自治を求めるようになった。11～12世紀以降、北西ヨーロッパを中心にして多くの都市が皇帝や国王などから（ e ）を得て、自治権を獲得し、地域ごとに異なる形で都市の自治化が進んだ。

自治都市では、市民が独自の行政組織をもって都市を運営するようになった。当初は大商人たちが（ f ）を組織して市政を支配していたが、次第に手工業者たちが D を経て市政に参加するようになった。また、都市の上層市民^(注)のなかには、経済力を背景に政治的影響力を持つ者も現れた。

経済的繁栄は文化の分野にも波及した。古代ギリシアの哲学や自然学がイスラム世界を経由して西ヨーロッパに流入するなかで、古典文化が復興することによって、E と呼ばれる学問の興隆が見られた。そして、人間の理性を重視し、世界を論理的・体系的に理解しようとする学問の態度が広がるなかで、スコラ学^(注)と呼ばれる新しい学問の枠組みが形成された。

このような知的活動の中心となったのが、各地で急速に発展した大学である。代表的な大学には、オックスフォード（オクスフォード）大学、サレルノ大学、パリ大学、そしてボローニャ大学などがあり、（ g ）が学問の国際的共通語として使用された。

文学や芸術、建築の分野でも大きな発展が見られ、学問の国際的共通語としての（ g ）とは違って、地域の言葉としての俗語を使用して、『（ h ）』のような騎士道物語（騎士道文学）が著された。また、ピサ大聖堂など厚い石壁に小さな窓を特徴とする（ i ）様式が生み出されるとともに、シャルトル大聖堂など尖塔やステンドグラスを特徴とする（ j ）様式も現れた。

設問1 文中の（ a ）～（ j ）に入る最も適切な語句を次の語群から選
び、番号を解答欄 I - A に記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|------------------------|-------------------|-------------|
| 1. アーサー王物語 | 2. アベラール | 3. アラビア語 |
| 4. アンセルムス | 5. イタリア政策 | 6. 恩貸地制度 |
| 7. カノッサの屈辱 | 8. 貨幣経済 | |
| 9. ガルガンチュワとパンタグリュエルの物語 | 10. ギリシア語 | |
| 11. 国土回復運動 | 12. ゴシック | 13. 三圃制 |
| 14. ジャックリーの乱 | 15. 十字軍 | 16. 従士制 |
| 17. 重商主義 | 18. 修道院運動 | |
| 19. 自由七科（自由学芸） | 20. 自由貿易 | |
| 21. 自由放任主義 | 22. 重量有輪犁 | 23. 巡礼 |
| 24. 荘園 | 25. 商人ギルド | 26. 贖宥状 |
| 27. 叙任権闘争 | 28. 人文主義（ヒューマニズム） | |
| 29. 千夜一夜物語（アラビアン＝ナイト） | 30. 草市 | |
| 31. 鎮 | 32. 定期市（大市） | 33. 同職ギルド |
| 34. 都市同盟 | 35. 特許状 | 36. ドミニコ |
| 37. ドン＝キホーテ | 38. 農奴 | 39. 農民保有地 |
| 40. ノルマン＝コンクェスト | 41. バロック | |
| 42. ビザンツ | 43. フス戦争 | 44. 不輸不入権 |
| 45. フランチェスコ | 46. ベネディクトゥス | 47. 封建的主従関係 |
| 48. ユートピア | 49. ラテン語 | 50. ラテン文学 |
| 51. ロココ | 52. ロマネスク | |
| 53. ワット＝タイラーの乱 | | |

設問2 下線部(ア)について、東地中海の沿岸地域を支配領域に含んで興隆したイスラーム王朝の創始年を古い順から並べたものとして、創始年の順番にある選択肢1～6のうちから正しいものを一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

イスラーム王朝名

- a. アイユーブ朝 b. セルジューク朝 c. マムルーク朝

創始年の順番

1. a → b → c 2. a → c → b 3. b → a → c
4. b → c → a 5. c → a → b 6. c → b → a

設問3 下線部(イ)について、ハンザ同盟の盟主となって繁栄した都市として正しいものを一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

1. ガン (ヘント) 2. ストックホルム
3. ブリュージュ (ブルッヘ) 4. リューベック (リューベク)

設問4 下線部(ウ)について、取引された商品や産業の様子の記述として誤っているものを一つ選び、番号を解答欄I-Bに記入しなさい。

1. イタリアにおいては、金融業の発展が見られる都市があった。
2. 北ドイツの諸都市の主な交易品の一つとしては、木材があった。
3. 地中海商業圏では、香辛料(香薬)がヨーロッパにもたらされた。
4. フランドル地方では、綿織物の生産が盛んであった。

設問5 下線部(ア)について、繁栄した上層市民とその本拠地の組合せとして正しいものを以下の選択肢1～12のうちから一つ選んで、解答欄I-Bに記入しなさい。

上層市民

X. フッガー家

Y. メディチ家

本拠地

a. アウクスブルク

b. ハンブルク

c. フィレンツェ

d. ミラノ

選択肢

1. X-a, Y-b

2. X-a, Y-c

3. X-a, Y-d

4. X-b, Y-a

5. X-b, Y-c

6. X-b, Y-d

7. X-c, Y-a

8. X-c, Y-b

9. X-c, Y-d

10. X-d, Y-a

11. X-d, Y-b

12. X-d, Y-c

設問6 下線部(オ)について、スコラ学における学者とその業績の組合せとして正しいものを以下の選択肢1～12のうちから一つ選んで、解答欄I-Bに記入しなさい。

学者

X. トマス＝アキナス

Y. ロジャー＝ベーコン

業績

a. 観察と実験を重視した。

b. 帰納法を確立した。

c. 『神学大全』を著した。

d. 『方法序説』を著した。

選択肢

1. X-a, Y-b

2. X-a, Y-c

3. X-a, Y-d

4. X-b, Y-a

5. X-b, Y-c

6. X-b, Y-d

7. X-c, Y-a

8. X-c, Y-b

9. X-c, Y-d

10. X-d, Y-a

11. X-d, Y-b

12. X-d, Y-c

設問7 文中の について、適切な語句を漢字3文字で解答欄I-Cに記入しなさい。

設問8 文中の について、適切な語句を漢字4文字で解答欄I-Cに記入しなさい。

設問9 文中の について、適切な語句を漢字3文字で解答欄I-Cに記入しなさい。

設問10 文中の について、手工業者の親方たちが市政への参加を求めて大商人に対して起こした争いの呼称として適切な語句を解答欄I-Cに記入しなさい。

設問11 文中の に入る適切な語句を解答欄I-Cに記入しなさい。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、設問1～11に答えなさい。

(50点)

中国は西北に高く東南に開けている地形的特徴から、大きな河川の大半は西から東へ流れている。河川による交通も東西には便利だが、南北には不便であった。ところが、緯度があまり変わらない東西にくらべて、南北のあいだでは気候の寒暖差が大きいため、地域的産物の種類も多くなり、いきおい一方であって他方にな
い物を互いに融通しあおうとする欲求を刺激するようになる。このため中国では古くから水路を開くことで南北交通の不便を克服しようとする努力が続けられた。その一つの集大成と言えるのが隋の時代に整備された大運河である。

隋の時代、大運河が現在の浙江省（ a ）と北京南郊の涿郡^{たくくん}とを結ぶ形で整備された目的の一つは、江南地方で生産された食糧を都あるいは北方の軍事拠点に運ぶことにあった。それが可能になったのは、六朝時代に江南の開発が進んだからである。魏晉南北朝時代には、戦乱が激しかった華北から多数の漢人が江南へと移住した。有力者たちは、三国時代の魏ではじまった（ b ）によって、官界で要職を独占して（ c ）となる一方、不安定な状況のなかで没落した農民を支配下におき、大土地経営を行った。

北魏以降、華北では遊牧民・漢人農民など多様な人々を統治する試みが積み重ねられ、民族・風土の違いを超えて適用できる諸制度が作られたが、隋・唐の時代は、そうした成果が集大成された時代と性格づけることができる。大運河の開通もまた、江南への移住と開発を促し、南北の経済的な結びつきを強めた。唐の都の長安は多くの外国人が集う国際都市であり、行政機構の複雑化にともなう官僚数の増加も長安の食糧需要を増大させたが、これも大運河および黄河を経由して江南から運ばれる食糧に依存していた。ところが、大運河を北上して黄河に入り、北魏の孝文帝が現在の山西省大同から遷都した（ d ）を経て長安に向かう際、（ d ）と長安との間には船の難所があった。このため長安への食糧供給はしばしば滞り、かわって副都でもあった（ d ）の比重が高まっていった。

安史の乱ののち、唐は江南からの食糧輸送を確実にすべく、船の建造と運搬に従事する労働者の雇用を政府が行い、塩専売の利益をその費用に充てる改革を行ったが、唐も末期になると、中央政府が物流を掌握するのも困難になってきた。

唐滅亡後、後唐をのぞく五代の諸政権および北宋が、いずれも現在の（ e ）を都としたのは、江南からの物流を直接おさえるためであり、首都の条件として経済が優位を占めるようになったことを示している。北宋の都（ e ）の様子を描いたとされる画家張拙端の作品には、多くの露店が出てにぎわうアーチ形の橋をくぐって荷物を積んだ船が行き交う様子が描かれており、商業・消費の大都市としての（ e ）の繁栄ぶりを生き生きと伝えている。1127年に（ e ）が金の大軍によって占領されたのち、現在の（ a ）に都をおいた南宋と金とが対峙する形勢が1世紀ほど続いたが、この時期には南北を貫く大運河も大部分が荒廃した。ふたたび大運河が運用されるのは、元による南北中国の統一を待たねばならなかった。

フビライは新たな都として大都を造営した。膨大な人口をかかえる首都を維持するには、大都への物流を活発にし、当時ユーラシア随一の生産量を誇るまでになった江南の食糧を運ぶことが不可欠であった。このために大運河の整備が進められ、以前より東寄りにルートをとる運河を開くことで、距離の短縮が図られた。しかし、元の時代には大運河による物資輸送は安定せず、かわりに海運が採用されたが、その背景には唐宋以来の南海交易の活発化があった。宋代には海上貿易を管理する（ f ）が各地の港に置かれ、そこから徴収される税金は大きな財源となっており、フビライもまた海上貿易に力を入れ、莫大な税金を得ていたのである。

元を北へ退けて成立した明は、当初、現在の南京に都をおき、いわば経済の重心である江南に政治の重心を重ねる形で国家建設を進めた。ところが（ g ）を勝ち抜いて帝位を奪い取った永楽帝は、即位以前からの本拠地であった北京への遷都を断行する。長城以北のモンゴルと対峙する明は、首都の人口にくわえて大規模な辺境防衛軍を維持せねばならず、元にも増して江南からの食糧輸送が重要となった。明初には海運が行われたが、倭寇による略奪被害や海難事故が多発したために停止され、かわって遷都にかかわるプロジェクトの一環として、大運河および関連諸制度の整備が進められた。大運河によって首都に江南の食糧を輸送する体制は、これ以降、清末に至るまで続いた。

設問1 文中の(a)～(g)に入る最も適切な語句を次の語群から選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

【語群】

- | | | | |
|----------------|----------|----------|---------|
| 1. 海関 | 2. 開封 | 3. 科挙 | 4. 漢城 |
| 5. 貴族(門閥貴族) | | 6. 郷拳里選 | 7. 郷紳 |
| 8. 九品中正(九品官人法) | | 9. 杭州 | 10. 公所 |
| 11. 行商 | 12. 骨品制 | 13. 士大夫 | 14. 市舶司 |
| 15. 上京 | 16. 靖康の変 | 17. 靖難の役 | 18. 泉州 |
| 19. 蘇州 | 20. 天津 | 21. 土木の変 | 22. 寧波 |
| 23. 八旗 | 24. 福州 | 25. 武昌 | 26. 北伐 |
| 27. 揚州 | 28. 洛陽 | | |

設問2 次のア～エの文のうち、波線部(A)および(B)の都市の説明として最も適切な組合せを下の1～12から一つ選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

ア. 4世紀に遊牧民に都を奪われて逃れた王朝が都において以降、王朝は変わりながらも、6世紀末まで都であり続けた。

イ. 大運河と黄河との結節点に位置し、水路をつうじて中国の東西南北を結びつける商業網の中樞として機能した。

ウ. 農耕地域と遊牧地域の境界にあたる長城ライン上に位置し、10世紀以降に農耕地域を支配することになった北方民族の政権が農耕地域を支配する際の拠点になった。

エ. 中央ユーラシアと直結し、大運河の開通によって「海の道」とも結びついた。

- | | | |
|----------------|----------------|----------------|
| 1. (A)ア, (B)イ | 2. (A)ア, (B)ウ | 3. (A)ア, (B)エ |
| 4. (A)イ, (B)ア | 5. (A)イ, (B)ウ | 6. (A)イ, (B)エ |
| 7. (A)ウ, (B)ア | 8. (A)ウ, (B)イ | 9. (A)ウ, (B)エ |
| 10. (A)エ, (B)ア | 11. (A)エ, (B)イ | 12. (A)エ, (B)ウ |

設問3 下線部(イ)に関連して、世界史上の長距離交易について述べた次の1～4のうち、内容の誤っている文を一つ選び、番号を解答欄Ⅱ－Aに記入しなさい。

1. 4世紀頃、サハラ砂漠縦断にラクダが利用されるようになると、西アフリカ産の金とサハラ産の岩塩とを取引する交易がさかんになった。
2. アラビア半島では、イスラームが出現する以前から、砂漠に点在するオアシス都市を結ぶ商業活動が行われており、イスラームも商業活動に肯定的であった。
3. 明の鄭和の遠征を機に急成長し、中継貿易で栄えたマラッカは、16世紀にスペインによって占領された。
4. 徳川家康が東南アジアに派遣した朱印船は、日本産の銀や銅を輸出し、中国産のほかベトナム産の生糸を買い入れた。

設問4 下線部(ろ)に述べるような成果の具体例として、華北を経由して朝鮮や日本にも伝えられた仏教や、中国の周辺諸国でも導入された律令が挙げられる。これらについて、(1)・(2)のそれぞれに(a)(b)の二文を挙げる。(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を、解答欄Ⅱ－Aに記入しなさい。

(1) 仏教について

- (a) 唐の時代に国家的保護のもとで雲崗石窟が造営された。
- (b) 長安にならって造営された日本の平安京では、仏教文化の影響を強く受けた天平文化が開いた。

(2) 律令について

- (a) 隋の文帝が律令を制定し、唐もこれを受け継いで律令を制定した。
- (b) 唐代に整備された律令の法体系は、のちの明の時代にも継承された。

設問5 下線部(あ)に関連して、安史の乱後、土地を離れて流動化する人口の受け皿となったのは、流通業あるいは政府の専売強化にともなって登場した塩の密売業者であった。これに関連して下の(1)・(2)に答えなさい。

(1) 9世紀後半にこうした勢力が蜂起して始まった反乱は、唐に大打撃を与えた。山東で挙兵してこの反乱を率いた塩の密売商人の名前を漢字2文字で解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。

(2) (1)の反乱の際、ある都市が破壊されたことにより、この地を拠点としていたムスリム商人がマレー半島まで撤退することとなった。当時、中国最大の港市であったこの都市の名称を解答欄Ⅱ-Bに漢字で記入しなさい。

設問6 下線部(こ)にいう絵画の作品名を解答欄Ⅱ-Bに漢字5文字で記入しなさい。

設問7 下線部(か)に関連して、この一環として貨幣制度も整備されたが、当時ムスリム商人が活躍した中央アジア・西アジアで決済手段として広く用いられ、モンゴル帝国においても基本通貨とされたのは何か。解答欄Ⅱ-Bに漢字で記入しなさい。

設問8 下線部(け)に関連して、特に宋代以降の農業では、地主が小作農に土地を貸して小作料を取る方式が主流となったが、こうした小作農は何と呼ばれるか。解答欄Ⅱ-Bに漢字2文字で記入しなさい。

設問9 下線部(こ)に述べるように、海港都市「ザイトウン」での貿易とそこから得られる巨額の税収については、フビライに仕えたとされるマルコ＝ポーロの口述をまとめた書物にも記されている。この書物の名称を解答欄Ⅱ-Bに記入しなさい。

設問10 下線部(ち)に関連して、明清時代のモンゴルの動向について述べた①～④のうち、内容の正しい文を時代順に並べたものを下の1～8から一つ選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

- ① 黄帽派（ゲルク派）チベット仏教の教主にダライ＝ラマの称号を贈った。
 - ② 永楽帝の死後、オイラトが勢力を強めた。
 - ③ アルタンの死を機に、明はモンゴルとの辺境交易を公認した。
 - ④ 皇帝を称したホントイジはモンゴルの大ハーンの地位も引き継いだ。
1. ①→②→③ 2. ②→①→③ 3. ①→②→④
4. ②→①→④ 5. ①→③→④ 6. ①→④→③
7. ②→③→④ 8. ②→④→③

設問11 下線部(り)にいう時期の倭寇について述べたものとして正しい文を下の1～4から一つ選び、番号を解答欄Ⅱ-Aに記入しなさい。

- 1. モンゴルの外圧とともに「北虜南倭」と並称される。
- 2. 東シナ海周辺諸国の中央政府の統制力が弱まり、西日本の武装した沿海民を中心に、朝鮮・中国の沿海民もくわわった。
- 3. 中国の東南沿岸の民間商人を中心とする勢力が明の海禁に抵抗し、武装して密貿易を繰り広げた。
- 4. 倭寇対策で名声をあげた李舜臣が新たな王朝を建て、国号を朝鮮とした。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、設問1～6に答えなさい。

(50点)

1814年から1815年にかけて、フランス革命とナポレオン戦争⁽¹⁾で生じた混乱を收拾し、新たな国際秩序を話し合うために、国際会議が開かれ、ヨーロッパ諸国の代表が参加した。1815年に調印された議定書では、基本原則として、フランス革命以前の王朝を正統とみなし、それを復活させようとする正統主義⁽²⁾と大国間の勢力均衡による国際秩序の平和的維持が追求された。このヨーロッパの新たな国際秩序は と呼ばれる。

を強化するために、ロシア皇帝の (a) の呼びかけで神聖同盟が結成された。また、オーストリア、プロイセン、ロシア、(b) は四国同盟を結んだ。

ヨーロッパ諸国民は、復古的、反動的な体制に不満を持ち、各地で個人の自由・平等を求める自由主義と国民国家の建設をめざすナショナリズムの運動^(A)をおこなったが、いずれも鎮圧された。

しかし、 の支配下にあったギリシアの独立運動が1821年に始まり、地中海やバルカン地域に利害関係を持つ列強の支持を受けて、1830年に独立が達成されると、 は揺らぎ始める。

フランスでは王政復古のもと立憲君主制が敷かれていたが、(c) は貴族を保護して反動的な政治を行ったため、国民の反発を招いた。1830年、(c) は国民の関心をそらすため (d) への派兵をおこなった。しかし、国民の反発は強まり、同年7月にパリの民衆が蜂起し、(e) は退位を余儀なくされた。この後、自由主義者の (e) 家のルイ=フィリップが新しい国王に迎えられた。こうして成立した七月王政のもとでは、大ブルジョワが支配的となり、産業革命の進行が加速化された。七月革命はヨーロッパ各地に影響を及ぼし^(B)、自由主義とナショナリズムが進行した。

七月王政下のフランスでは、厳しい制限選挙に対する共和派や労働者の不満が強まった。1848年2月、選挙法改正を要求する集会が弾圧されたことから、パリ民衆が蜂起して市街戦となり、国王は退位して臨時政府が成立し、(f) 共和政が始まった。これは二月革命と呼ばれる。

臨時政府には、社会主義者の（ g ）も参加したが、ブルジョワを代表する自由主義者と労働者を代表する社会主義者の間の対立が深まった。1848年4月の国民議会選挙では、社会主義派はやぶれ、穏健共和派が大勝した。選挙後に臨時政府は保守化し、これに反発してパリの労働者は蜂起するが鎮圧された。同年12月の大統領選挙では、ナポレオン1世の甥であるルイ＝ナポレオンが当選した。その後、彼はクーデターで大統領権限を強め、国民投票によって皇帝となった。

二月革命はフランス国外に大きな影響を及ぼした。1848年3月にウィーンとベルリンで反政府暴動がおこり、オーストリアでは宰相の [ウ] が失脚し、プロイセンでは国王が譲歩し、それぞれ自由主義内閣が成立して、 [ア] が消滅した。5月には、ドイツ各地の自由主義運動の代表らによってフランクフルト国民議会が開かれ、ドイツ統一と憲法制定が議論された。オーストリア帝国内のハンガリーとボヘミア（ペーメン）では民族自治を求める運動が激化し、諸国分立の状態にあったイタリアでは、統一と改革をめざす運動が高揚した。こうした自由主義的改革運動と独立・自治を求めるナショナリズムが高揚する状況は「 [エ] 」と呼ばれ、1848年革命とも総称される。

自由主義とナショナリズムの精神が深まった背景には、19世紀前半のヨーロッパ文化を特徴づけるロマン主義があった。ロマン主義は調和よりも躍動を、理性よりも自由な感情を、普遍性よりも個性を重視した。

設問1 文中の [ア] ～ [エ] に入る適切な語句を、解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

設問2 文中の (a) ~ (g) に入る最も適切な語句を次の語群から選
び、番号を解答欄Ⅲ-Bに記入しなさい。

【語群】

- | | | |
|-------------|--------------|--------------|
| 1. アルジェリア | 2. アレクサンドル1世 | 3. アレクサンドル2世 |
| 4. アンリ4世 | 5. イギリス | 6. オーウェン |
| 7. オラニエ | 8. オルレアン | 9. サヴォイア |
| 10. サン=シモン | 11. シャルル10世 | 12. スペイン |
| 13. 第一 | 14. 第三 | 15. 第二 |
| 16. 第四 | 17. チュニジア | 18. ナイジェリア |
| 19. ナポレオン3世 | 20. ニコライ1世 | 21. ニコライ2世 |
| 22. フランス | 23. フーリエ | 24. ブルボン |
| 25. モロッコ | 26. ルイ16世 | 27. ルイ=ブラン |

設問3 下線部(A)について、ナショナリズムの運動の記述として誤っているもの
を、次の1~4から一つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

1. ドイツでは学生同盟ブルシェンシャフトの運動がおこった。
2. イタリアでは秘密結社カルボナリが蜂起した。
3. スペインでは立憲革命がおこった。
4. ロシアではナロードニキの反乱がおこった。

設問4 下線部(B)について、七月革命の影響の記述として誤っているものを、次の1～4から一つ選び、番号を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

1. 1831年、ベルギーがオランダから独立し、立憲王国を樹立した。
2. ハンガリーではコシューシコ（コシチューシコ）が中心となって民族運動を展開した。
3. 分割されていたポーランドで民族主義者が蜂起した。
4. イタリアでは独立を目指す蜂起がおこった。

設問5 波線部(1)～(3)に関連する次の記述(a)(b)について、(a)(b)ともに正しい場合は数字1、(a)のみ正しい場合は数字2、(b)のみ正しい場合は数字3、(a)(b)ともに正しくない場合は数字4を解答欄Ⅲ-Cに記入しなさい。

- (1) ナポレオン戦争について。
 - (a) 1806年のライン同盟結成により、神聖ローマ帝国は崩壊した。
 - (b) 画家ゴヤによる作品「1808年5月3日」には、ナポレオン軍が抵抗する市民を銃殺する場面が描かれている。
- (2) ドイツ統一について。
 - (a) 大ドイツ主義とは、オーストリアを含めてドイツを統一する考え方である。
 - (b) フランクフルト国民議会では、小ドイツ主義で統一する案が選択された。
- (3) ロマン主義について。
 - (a) ロマン主義の画家であるドラクロワは1830年の七月革命を題材にとって「民衆を導く自由の女神」を描いた。
 - (b) ルノワールはロマン派の画家とされている。

設問6 二重下線部(あ)~(う)に関連する以下の問いに対する答えを解答欄Ⅲ-Aに記入しなさい。

- (あ) フランス代表としてこの国際会議に参加し、正統主義をとらえたフランス外相の名前を、答えなさい。
- (い) ドイツの社会主義思想家のマルクスとエンゲルスが1848年に、共同で社会革命を求めて発表した刊行物の名称を、漢字で答えなさい。
- (う) 1849年に成立したローマ共和国で、「青年イタリア」を組織した人物の名前を、答えなさい。